



多摩森林科学園

東京都八王子市にある森林総合研究所多摩森林科学園について、ご紹介いたします。

当科学園は、56haの敷地にサクラ保存林、樹木園、試験林などが広がり、年間約3万人もの人が訪れます。特にサクラの開花時期3月から4月下旬にかけて来園者が多く、約8haのサクラ保存林に全国から集められた約500系統・1400本のサクラが美しく咲き誇ります。

マメザクラ



鬱金桜



当科学園では、都市近郊林が有する多面的機能を発揮させるための管理・利用技術の開発や、動植物の多様性の保全、サクラの系統保存の研究を行っています。また、森林総合研究所の研究成果の普及・広報活動を行うとともに、主に小学生を対象とした森林・林業に関する教育や学校教職員を対象とした研修にも取り組んでいます。

科学園内にある森の科学館は、森林総合研究所の研究成果や水源林造成事業、森林保険の内容などを皆様にご紹介するための展示を行っています。ムササビの巣や様々な木の音や重さなどを体感できるコーナーもあり、大人から子どもまで楽しめますので、是非お越しください。



研究、水源林、森林保険の展示

日本の森林認証について(その2)

先月に引き続き、日本国内の森林管理認証制度であるSGEC森林認証の公示認定認証機関である一般社団法人日本森林技術協会の矢野俊夫主任研究員に日本の森林認証についてお話を伺いました。

質問: SGEC認証の有効期間は何年ですか?

矢野: SGEC認証の有効期間は5年です。また、一度取得しても継続して持続可能な森林経営が行われているか(森林管理認証)、またそこから生産された木材・木製品の加工流通が他の材と区別して取り扱われているか(COC認証)、継続的に確認するために毎年定期審査を行っています。

質問: SGEC全体の森林管理認証の取得面積・件数は増えていますか?

矢野: 増えてきています。この1年間で認証面積が25万ha増え156万ha、COC件数が109件増え459件となっています(H28.12.26現在)。しかし残念ながら、森林認証材の流通はごくわずかで、まだわが国では広く認知されているとは言えないのが現状です。

質問: オリンピックを契機に森林認証材の普及は進むと思いますか?



【SGEC PEFCのロゴ】

矢野: オリンピックでの認証材利用を通じて、国民の皆様にご紹介することを知ってもらえるのではないかと期待しています。また持続可能性に配慮した木材を使用する重要性についての理解が深まるのではないかと期待しています。

質問: SGECにおける森林保険の意義を教えてください。

矢野: 森林保険は、SGEC森林管理認証ガイドラインで、火災や気象災などの森林被害を受けたときに森林を回復し持続可能な森林経営を行う有効な手段の一つとして位置づけられています。

森林保険ポスター

森林保険のポスターを作成しました。

林野庁、都道府県、市町村、森林組合連合会、森林組合などに掲示のご協力をいただいております。掲示にご協力いただける方は、森林保険センター保険企画課044-382-3500までご連絡ください。

発行元: 国立研究開発法人森林総合研究所 森林保険センター
(HPアドレス: <http://www.ffpri.affrc.go.jp/fic/>)

森林ととともに 80年 森林保険

【80周年のロゴ入り】

